

CORPORATE GUIDE HOEI PLASTICS CO., LTD.



宝永プラスチック株式会社

— 経営理念 —

お客様満足
の追及

当社の
技術と経験
を提供

確かな品質
ISO9001 取得

環境配慮
ISO14001 取得

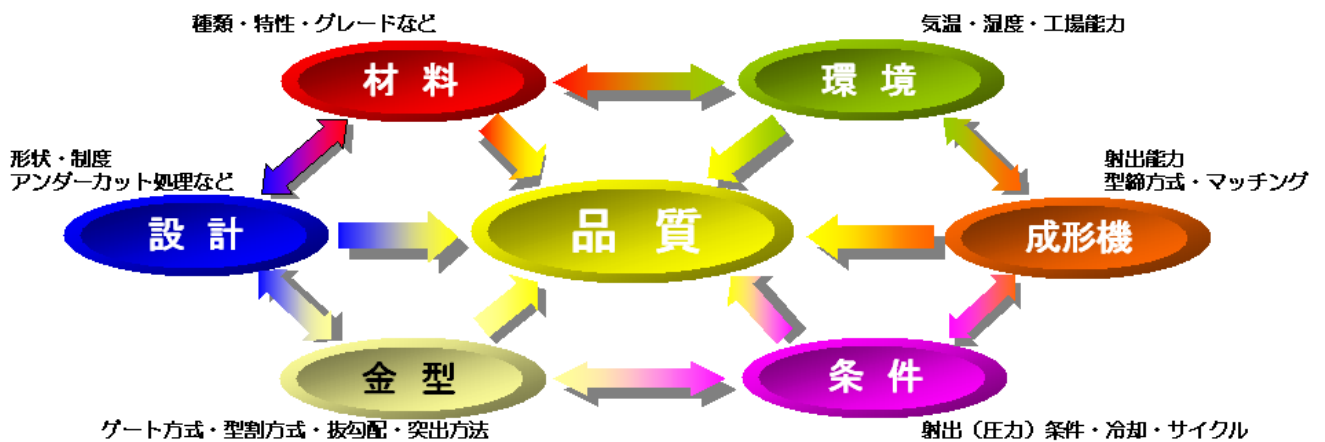
『 宝永プラスチック（株）は、
お客様に満足を提供するモノづくりに努めています。 』

1. 富士電機リテイルシステムズグループの一員として、プラスチック事業を展開しています。
2. 自動販売機部品のみならず、自動車、電力計器等を始めとする。工業用プラスチック製品を生産する総合成形会社でもあります。
3. プラスチックづくりの原点に立ち、良い品質のものを、ご満足のいく価格で提供する一方、新しい技術への挑戦を進め、付加価値のあるモノづくりで、お客様の信頼にお応えしていきます。
4. いろいろな機会を通して、幅広くプラスチック同業・異業種様をパートナーとして、モノづくりに励んでいきたいと考えています。

— 品質方針 —

品質方針

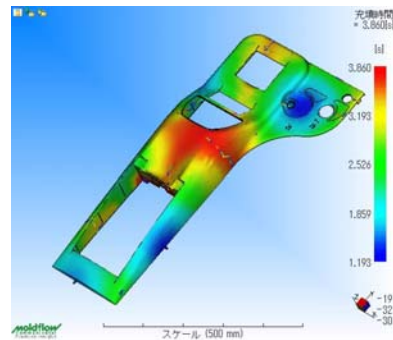
1. 当社は品質第一を基本とし、顧客に喜ばれる製品を提供することにより、顧客満足の向上に努めます。
2. 顧客ニーズの把握に努め、顧客の期待に応えるべく、顧客要求事項及び、それらに関連する法令を順守します。
3. 品質マネジメントシステムの有効性の継続的改善を行います。
4. 年度毎に品質目標を設定し、各部門はその実現を図り、その達成状況を定期的にレビューします。
5. 当社は全ての面から品質を管理します。



3次元測定器（ミットヨ製）



流動解析



富士電機リテイルシステムズ（株）三重工場の流用可能な試験設備

- ・ 恒温試験室
- ・ 振動/温湿度複合環境試験室
- ・ 降雨照射装置
- ・ 塩乾湿複合試験装置
- ・ 電波暗室測定室
- ・ 半無響室測定室
- ・ ウェザーサンシャイン試験

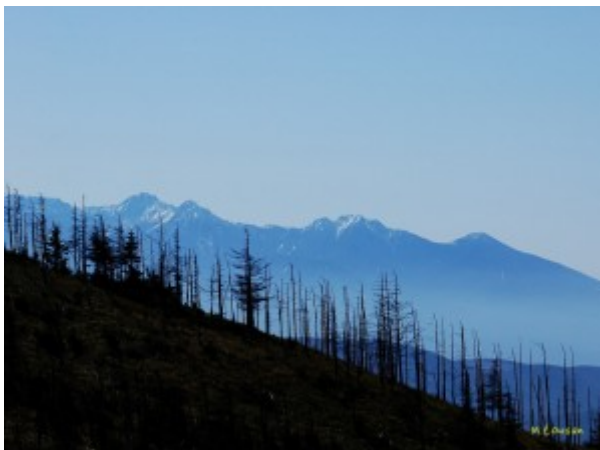
— 環境方針 —

環境方針

当社は、プラスチック部品の射出成形加工を営む企業として、地球環境の保全を重要課題の一つとして捉えた企業活動を推進し、社会的責任を果たします。

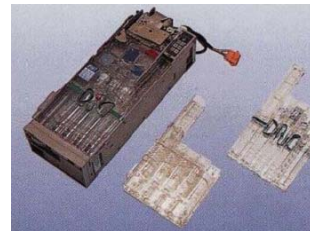
1. 当社の事業活動に係わる環境側面を常に認識し、汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社の事業活動に係わる環境関連法規、及び当社が同意するその他の要求事項を順守し、環境保全に努めます。
3. 当社の事業活動に係わる著しい環境側面のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - 1) 電力の使用量削減等の省エネルギー化に努めます。
 - 2) 使用する資源の有効活用により、省資源化に努めます。
4. この環境方針の達成のため環境目的・目標を設定し、全従業員へ周知し、組織の総力を上げてマネジメントシステムを推進、その達成状況を定期的にレビューします。

—この環境方針は要求に応じ社内外に公表します—



— 製品紹介 —

自動販売機用部品



自動車関連部品



インバーター機器関連部品、その他



— 会社概要 —

設立：昭和52年8月（昭和21年12月「明和化成」が会社の始まり）

資本金：7,000万円（100%富士電機リテイルスシステムズ(株)出資）

従業員：110名

面積：約6,300㎡（約2,000坪）

営業内容：射出成形加工、NCトリミング加工、各種部品組立

主要顧客：富士電機グループ会社及び関連会社・古河電気工業（株）・

東北電力（株）・総和産業（株）

敬称略

— 主要設備 —

<熱可塑性樹脂成形機>

【油圧式射出成形機】 (20台)

名機製作所	650t	1台
名機製作所	550t	2台
名機製作所	450t	1台
名機製作所	350t	2台
名機製作所	200t	4台
名機製作所	150t	4台
名機製作所	100t	3台
名機製作所	70t	3台

【電動式射出成形機】 (19台)

名機製作所	350t	1台
FANUC	300t	1台
名機製作所	150t	1台
FANUC	150t	4台
FANUC	100t	5台
名機製作所	80t	1台
FANUC	75t	3台
FANUC	50t	1台
FANUC	30t	2台

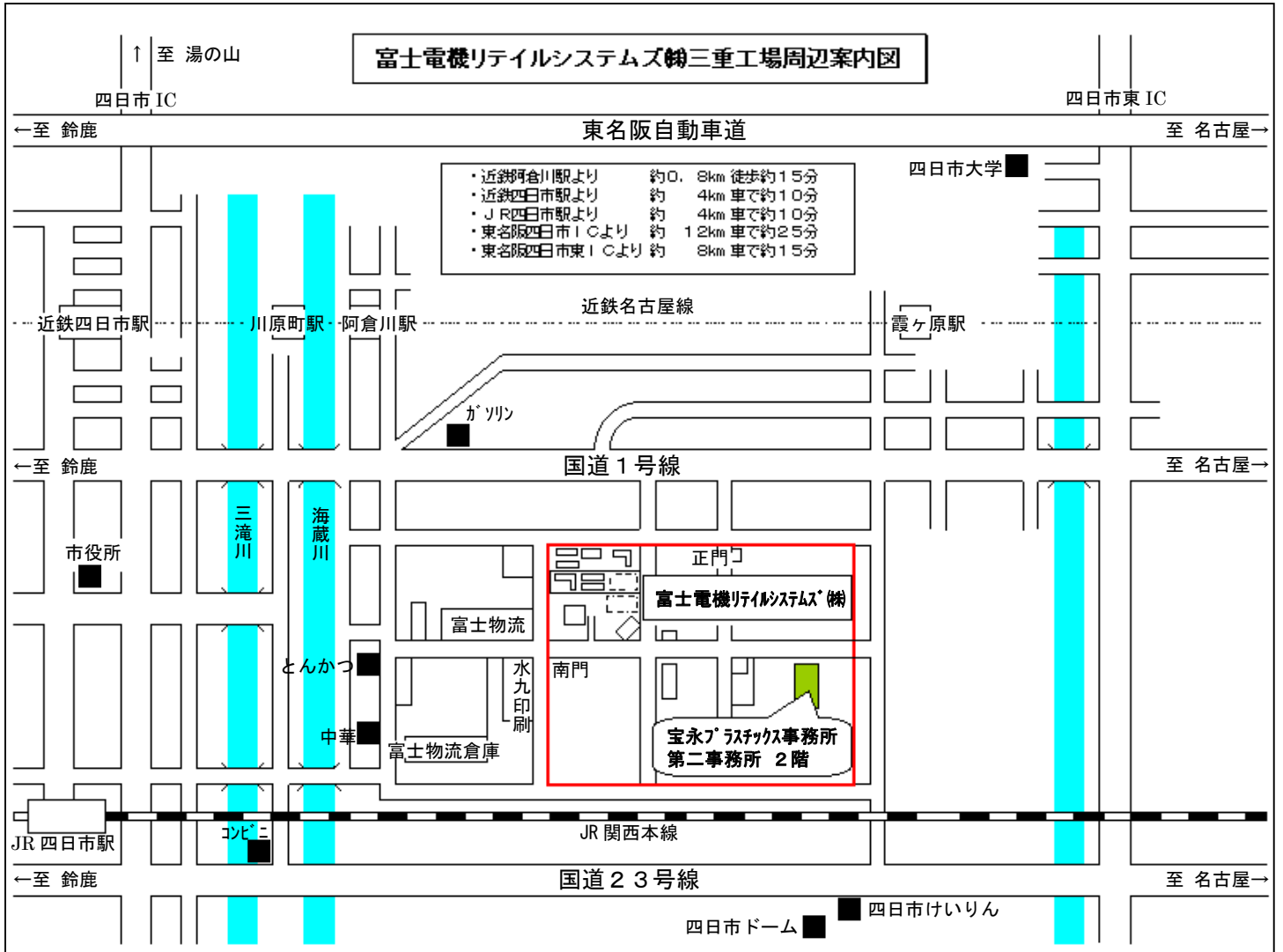
窒素ガスインジェクション装置 1台

NCルーター 4台 パッド印刷機 3台 シルク印刷機 1台

3次元測定器 1台

沿 革

昭和 21年 12月	富士電機（株）と宇部興産（株）の合併会社として『明和化成（株）』を設立
昭和 38年 12月	四日市市に『明和化成（株）四日市工場』を新設し、家電部品の生産開始
昭和 39年 11月	『旧・宝永プラスチック（株）四日市工場』に名称変更
昭和 45年 1月	自販機用部品の生産開始
昭和 48年 11月	工場を現在地に移転し『旧・宝永プラスチック（株）鈴鹿工場』と名称変更
昭和 52年 8月	旧・宝永プラスチックを分離独立し、『宝永プラスチック（株）』を現在地に設立
昭和 54年 9月	自動車関連部品の生産開始
昭和 60年 12月	インバータ関連部品の生産開始
昭和 61年 8月	自販機用プラスチックシートの成形加工開始
平成 2年 8月	自動車電装関連プラスチック部品の生産開始
平成 8年 9月	プラスチック加工を業務拡大し、通過関連機器用部品の組立加工開始
平成 9年 1月	空調完備の金型保管倉庫を新設
平成 14年 11月	シート工場に中2階増設し、自販機メック組立生産開始
平成 15年 9月	パッド印刷、マーキングの設備導入し、営業品目を拡大
平成 16年 10月	ガスインジェクションの設備導入し、新規営業活動を開始
平成 16年 12月	品質の国際規格 ISO9001 認証取得し、品質管理を強化
平成 17年 10月	成形機 100トン、150トンの更新で成形品質を向上
平成 17年 12月	環境の国際規格 ISO14001（2004年版）認証取得



FE 宝永プラスチック株式会社

〒510-0013 三重県四日市市富士町1番27号

富士電機リテイルシステムズ株式会社 三重工場内

代表電話 059-330-1572 FAX 059-330-1634